

2019年7月8日

各位

株式会社 紀陽銀行

「SDGs de 地方創生ゲーム」の実施について
～地域の若者が集まり、和歌山の未来について考えました～

株式会社紀陽銀行（頭取：松岡 靖之）は、財務省近畿財務局和歌山財務事務所（所長：花田 一夫）およびきのくに信用金庫（理事長：田谷 節朗）と共催し「SDGs de 地方創生ゲーム」を開催しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当行は今年3月に「紀陽銀行 SDGs宣言」を表明し、行内外へのSDGsの浸透に取り組んでおります。今回は、当行行員を含む様々な立場の地域の若者が集まり、「SDGs de 地方創生ゲーム」を通じ、楽しみながらSDGsへの理解を深めるとともに、地方創生や和歌山の未来について意見交換をおこないました。

紀陽銀行は、SDGs達成に向けた取り組みを今後更に加速させ、地域社会とともに持続的に成長していくことを目指してまいります。

記

1. 実施概要

日 時	2019年7月7日（日）14:00～19:00
場 所	和歌山地方合同庁舎 5階共用会議室
参 加 者	地域で働く若者および地域の大学生 64名
内 容	ファシリテーターによる「SDGs de 地方創生ゲーム」の実施および意見交換会

2. ゲーム中の様子



以上

本取り組みは、SDGs（持続可能な開発目標）のゴール4「質の高い教育をみんなに」、ゴール17「パートナーシップで目標を達成しよう」につながる取り組みです。



【ご参考】「SDGs de 地方創生ゲーム」とは

「SDGs（持続可能な開発目標）」に地方創生の文脈を掛け合わせた体験型シミュレーションゲーム。プレイヤーと協働しながら、地域の「人資源」と「お金」を用いてまちづくりプロジェクトを実践し、「個人のゴール」と「地域のゴール」を目指す中で、SDGs×地方創生の全体性、協働・対話の重要性を体感的に学べます。

